

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	県営林道開設事業	会計	一般会計	事業No.	421	施策順No.	11-027	
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-2-2-19-2			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	3	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	林道						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		県営林道開設計画延長(累計)		1979	2029	2155		
	意図	開設を推進する						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	県営林道開設実施延長(累計)	1908	1979	2035	2155	2106	2185	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		事業実施箇所が急峻であり、法面保護工に想定以上の費用を要した為目標を上回れなかった。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	県営林道開設負担金 <参考>細々目名: 県営林道開設事業費		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	県営林道開設事業負担金 事業主体 長野県 H21(繰越) 矢筈線	開設延長幅員	L=71m W=4.0m
23年度実施計画	県営林道開設事業負担金 事業主体 長野県 H22(繰越) 矢筈線	開設延長幅員	L=79m W=4.0m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (地)過疎対策(充当率100%) 22→23繰越明許 912千円
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債		12,000	11,000	0	
	その他					
	一般財源			88		
	計(A)		12,000	11,088	0	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			0		
	トータルコスト A+B			11,088		

4 事業に対する市民や議会の意見

市民からの要望がある

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)
				経済的自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	長野県が事業主体であり、残土処理場の確保、立木補償等の調整を行いL=2,106m開設された。		
	後期に向けた課題	残延長L=79mの事業実施に協力し、林業生産のさらなる向上を目指す。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	残土処理場の確保、立木補償等の調整を主体的に実施。		
	後期に向けた課題	残土処理場の確保、立木補償等の調整を主体的に実施する。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	工法検討によりコスト削減を図った。		
	後期に向けた課題	工法検討や効率的な事業実施により、コスト削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	長野県が事業主体であるが、市が関与しなければ実施は困難である。		
	後期に向けた課題	長野県が事業主体であるが、市が関与しなければ実施は困難である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は長野県であり、長野県において実施した。 ②残土処理場の確保、立木補償等の調整を主体的に実施した。		
	後期に向けた課題	①主体は長野県であり、長野県において実施。 ②残土処理場の確保、立木補償等の調整を主体的に実施する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	長野県が事業主体であり、残土処理場の確保、立木補償等の調整を行い木材輸送能力を向上させる事が出来た。		
	後期に向けた課題	事業実施に協力し、木材輸送能力のさらなる向上を目指す。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
--	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------